

OITDA/TP 35/CN (2022 Ed. 1)

円筒形フェルールのフェルール穴軸とフェルール軸との角度ずれ測定に関するラウンドロビンテスト結果

概 要

円筒形フェルールのフェルール穴軸とフェルール軸との角度ずれは、光ファイバコネクタの挿入損失に影響を及ぼすため、重要な特性である。また、フェルールの穴角度ずれ測定方法は、JIS 規格に規定され、その附属書に測定不確かさに寄与すると考えられる項目が挙げられている。この測定不確かさを実験的に検証するため、フェルール製造会社でラウンドロビンテストを行い、測定条件の統一を進めながらラウンドロビンテストを繰り返した結果、目標とする測定ばらつき（各社測定値の最大値と最小値との差）を得るに至った。そこで、実際の測定条件を含むラウンドロビンテスト結果を公開するために、光産業技術振興協会規格（OITDA 規格）の技術資料（TP）を作成した。